

1. 夏の語り指導ワークショップ

今回で7回目を数える夏の語り指導ワークショップは例年にならい3日間行い、その中で部員が行ったリストの活用事例等を発表した。今年も過去最高の計178名の参加者を迎え、研修を深めることができた。

2. 今年度の研究の概要

今年度は picture describing 活動を通して、教師がこれまでに指導した動詞のコロケーション表現をどれだけアウトプットできたかを調査した。具体的には2007年度に研究部で作成した「検定教科書にあらわれる重要動詞のコロケーションリスト」を元に、picture describing 活動を通して、表現力を高めるための指導を行った。

3. 研究発表

～語り指導（9）「生徒がアウトプットした重要動詞のコロケーション調査」～

今年度は Picture Describing 活動を通して、教師がこれまでに指導した重要動詞のコロケーション表現を生徒がどれだけアウトプットできたかを調査した。具体的には生徒が発話したデータを持ち寄り、分析を加えた。その結果、次のようなことがわかった。

- ①絵を説明するときに、必ずと言ってよいほど使用される動詞がある。(wear, have, sit, talk, stand, walk, see, look, 等)まずはこれらの動詞とそのコロケーションの指導を必ず事前に行う必要がある。
- ②既習の絵を使った場合、学習してから時間が経過しているものは身についたと考えられるが、学習直後の場合は短期記憶にあるだけの可能性がある。
- ③初見の絵を使用する場合は生徒の想像力を働かせることができる。
- ④使用する絵は、人物が多く、動きがあり、風景があるものがよい。

4. 公開授業

公開授業では研究部員の岡崎伸一教諭（品川区立小中一貫校日野学園）が8年生（中学2年生）の授業を公開した。電子黒板を駆使したすばらしい授業であった。240名を超える参加者からは活発に質問や意見が出された。